

1 款

議会費

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	議会の運営					事業類型	内部事務						
担当部課	議会事務局 庶務調査課、議事課												
基本計画	編	-	章	-	施策番号	-	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-				
予算科目	会計	一般会計			款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
根拠法令等	地方自治法、八王子市議会基本条例、八王子市議会会議規則、八王子市議会委員会条例、八王子市議会政務活動費の交付に関する条例、八王子市議会決定事項												
事業目的 (最終的に目指す状態)	市民に開かれた議会を目指し、本会議・委員会等の市議会の運営、活動を実現すること。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	78,323	80,893	80,376	△ 517	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	16,719	15,869	12,233	△ 3,635		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0
		小計	95,042	96,762	92,610	△ 4,153		分担金及び負担金	0	0	0	0
	業務費用	物件費	25,676	21,053	21,804	751		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	565	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	1,548	211	157	△ 54
		その他	0	0	0	0		小計	1,548	211	157	△ 54
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		経常収支差額(A)	△ 149,194	△ 145,044	△ 139,812	5,231
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		小計	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	121,283	117,815	114,413	△ 3,402	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 149,194	△ 145,044	△ 139,812	5,231	
	移転費用	29,458	27,439	25,556	△ 1,884	一般財源充当額(D)		148,829	145,247	143,151	△ 2,097	
	小計	150,742	145,254	139,969	△ 5,285	再計(C)+(D)		△ 365	204	3,338	3,135	

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	全国市議会議長会等負担金【2,978千円】 政務活動費【22,578千円】 委員会行視察旅行【5,012千円】 速記及び会議録原稿作成委託料【7,577千円】 本会議インターネット配信委託料【2,398千円】	複写機使用料【157千円】

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	10.69人	11.14人	11.09人	△ 0.05人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	10.69人	11.14人	11.09人	△ 0.05人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	63.05%	66.62%	66.16%	△0.45%
②	活動指標	会議の回数	回	146	148	128	△ 20
		単位当たりコスト	円/回	1,032,478	981,449	1,093,510	112,061
③	活動指標	政務活動費の執行率	%	92.05	90.94	87.10	△ 4
		単位当たりコスト	円/%	1,637,608	1,597,256	1,606,996	9,739
④	活動指標	調査受付・依頼件数	件	385	357	327	△ 30
		単位当たりコスト	円/件	391,537	406,875	428,041	21,165
⑤							
		単位当たりコスト	円/				

事業実績

30年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年にある改選業務をスムーズに行う。 開かれた議会の実現。 	29年度末時点の課題	議会報告会のあり方。
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 改選の業務は、部内の連携や情報共有を十分にいき、予定通り進めることができた。 常任委員会及び議会運営委員会行政視察報告のHPでの公開に合わせ、視察報告書の様式を統一し、HPで公開するとともに、「議会基本条例制定後の取り組み」をテーマとし市民に報告を行った。 政務活動費の収支報告書(平成29年度分)をHPで公開した。 本会議・委員会等の運営に関する業務、議長・議員に関する業務、政務活動費に関する業務を計画どおり実施した。 本会議25回、常任委員会38回、特別委員会(分科会含む)30回、議会運営委員会18回、市議会協議会4回、会派代表者会13回、委員会行政視察7回、管外視察2回、意見交換会2回、研修会1回。 	課題への対応	<p>議会報告会への参加者増をめざし、議会において様々な検討を行った結果、これまでの平日開催から土曜日(11月10日)夜の開催に変更したが、参加者数は100名と前年度の124名よりも減ってしまった。</p> <p style="text-align: center;">未解決</p>
30年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 改選業務をスムーズに行う。 「議会活動のみえる化」を中心に議会活動が活性化し、その機能を十分発揮できるような研究・検討を行う。 議会運営委員会で行った「議会基本条例の検証」で決定した今後取り組むべき12項目の実施に向けた検討を行う。 	30年度末時点の課題	4年に一度の改選に対する事前事務の内容の引き継ぎ。
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 改選にともなう事務作業への綿密な準備と情報共有。 「議会活動のみえる化」の具体案が決定された時に、すぐに対応可能な体制が取れるよう準備をする。 議員同士が協議する場をスタートできるよう、判断しメニューを複数提示し、議員を補佐する。また、その過程を記録に残し、新たな先例とする。 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 改選後の円滑な議会運営・活動の実現。 議会改革の内容の検討と推進。

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	市議会だよりの発行					事業類型	内部事務						
担当部課	議会事務局 庶務調査課												
基本計画	編	-	章	-	施策番号	-	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-				
予算科目	会計	一般会計			款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
根拠法令等	議会基本条例												
事業目的 (最終的に目指す状態)	議決機関としての活動状況を積極的に市民に周知し、議会への関心を喚起すること。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	21,980	21,785	21,743	△ 42	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	3,737	3,357	3,407	50		国庫支出金	187	174	169	△ 5
		その他	0	0	0	0		都支出金	93	87	85	△ 2
		小計	25,717	25,142	25,150	8		分担金及び負担金	0	0	0	0
	業務費用	物件費	17,110	15,468	15,630	162		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		小計	280	261	254	△ 7
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		経常収支差額(A)	△ 42,548	△ 40,348	△ 40,526	△ 177
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		小計	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	42,828	40,609	40,780	170	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 42,548	△ 40,348	△ 40,526	△ 177	
	移転費用	0	0	0	0	一般財源充当額(D)		43,149	41,392	41,323	△ 68	
	小計	42,828	40,609	40,780	170	再計(C)+(D)		601	1,043	797	△ 246	

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	市議会だより印刷費【7,586千円】 速記及び会議録原稿作成委託料【469千円】 市議会だより点字版作成委託料【171千円】 声の市議会だより作成委託料【167千円】 市議会だより各戸配付業務委託料【7,236千円】	地域生活支援補助金(点字・声の広報等発行事業) 国庫支出金(1/2)【169千円】 都支出金(1/4)【85千円】

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	3.00人	3.00人	3.00人	0.00人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	3.00人	3.00人	3.00人	0.00人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	60.05%	61.91%	61.67%	△0.24%
②	活動指標	市議会だより発行部数	部	1,122,400	1,124,600	1,123,900	△ 700
		単位当たりコスト	円/部	38	36	36	0
③		単位当たりコスト	円/				世帯数の動向による
④		単位当たりコスト	円/				
⑤		単位当たりコスト	円/				

事業実績

30年度目標	市民にわかりやすい市議会だよりを発行し、市民が市議会や市政に対する理解を深める一助となること。	29年度末時点の課題	文字ばかりにならず、タイトルや写真で記事を読んでもみようと思えるような紙面づくり。
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・文字ばかりにならないよう、箇条書きや図表・写真・イラストを多様し、ホワイトスペースを確保して、見やすく、読みやすくした。 ・斜め読みができるよう、小見出しを付け、記事の拾い読みで内容が伝わるようにした。 ・より読みやすく、読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントの導入を検討した。 	課題への対応	タイトルや小見出しの大きさや配置を工夫とともに、写真やイラストを盛り込むことで、より記事を読んでもみようと思える紙面づくりに取り組んだ。
			解決
30年度評価	達成	次年度の展開	改善

今後の取組

元年度目標	市民にわかりやすい市議会だよりを発行し、市民が市議会や市政に対する理解を深める一助となること。	30年度末時点の課題	記事を読んでもみようと思えるよう、ユニバーサルデザインフォントの導入を進め、より読みやすく、読みまちがえにくい紙面とする。
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・文字ばかりにならないよう、箇条書きや図表・写真・イラストを多様し、ホワイトスペースを確保して、見やすく、読みやすくする。 ・斜め読みができるよう、見出しの拾い読みで内容が伝わるようにする。 ・市議会の活動をわかりやすく伝えるため、紙面の許す限り特集を組んでいく。 	2年度の計画	本会議や委員会以外の活動や特集を組むことにより、市民が市議会や市政に対する理解をさらに深められるよう、市民にわかりやすい市議会だよりを発行する。

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	海外友好都市調査・研究					事業類型	内部事務						
担当部課	議会事務局 庶務調査課												
基本計画	編	-	章	-	施策番号	-	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-				
予算科目	会計	一般会計			款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
根拠法令等	海外友好交流都市盟約												
事業目的 (最終的に目指す状態)	海外友好交流都市の調査・研究を通じ、様々な分野での市民の交流が活発に行われ、多文化共生のまちづくりを推進すること。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	1,978	1,888	3,696	1,808	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	336	215	2,181	1,966		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0
		小計	2,315	2,103	5,877	3,774		分担金及び負担金	0	0	0	0
	業務費用	物件費	3,523	5,148	1,020	△ 4,128		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		小計	0	0	0	0
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		経常収支差額(A)	△ 5,838	△ 7,252	△ 7,077	174
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		小計	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	5,838	7,252	6,897	△ 354	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		△ 5,838	△ 7,252	△ 7,077	174	
	移転費用	0	0	180	180	一般財源充当額(D)		5,892	7,424	5,261	△ 2,163	
	小計	5,838	7,252	7,077	△ 174	再計(C) + (D)		54	172	△ 1,817	△ 1,989	

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	海外友好交流都市視察旅費【815千円】	—

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.27人	0.26人	0.51人	0.25人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.27人	0.26人	0.51人	0.25人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	39.65%	29.00%	83.04%	54.04%
②	活動指標	交流件数	件	2	5	1	△ 4
		単位当たりコスト	円/件	2,918,818	1,450,315	7,077,234	5,626,919
③		単位当たりコスト	円/				
④		単位当たりコスト	円/				
⑤		単位当たりコスト	円/				

事業実績

30年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日台交流サミットへの参加による、お互いの議会の意見交換。 ・議員の海外友好交流都市への訪問のあり方の再検討による交流の充実。 	29年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・日台交流サミットへの参加により、お互いの議会の意見交換を行うことができた。 ・議員の海外友好交流都市への訪問のあり方については、市議会として引き続き検討することとなった。 	課題への対応	—
			—
30年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾高雄市への視察を成功させ、有意義なものとする。 ・議員の海外友好交流都市への訪問のあり方の検討による交流の充実を目指す。 	30年度末時点の課題	—
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾高雄市への視察を実施する。 ・引き続き海外友好交流都市への訪問のあり方の検討を行う。 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・海外友好交流都市への視察訪問と海外友好交流都市からの視察受け入れ。